

学部入学の流れ(私費外国人留学生)

● 本学へ出願する前に、日本学生支援機構が実施する日本留学試験(11月)を受験する必要があります。



大学院入学について

各研究科によって、入学条件や出願、入試日程が異なります。自分の希望する研究科のウェブサイトを随時確認してください。

国際資源学研究科 —————: <https://www.akita-u.ac.jp/shigen/graduate/info.html>
 医学系研究科 —————: <http://www.med.akita-u.ac.jp/department/gs/kenkyu-selection.html>
 理工学研究科 —————: <https://www.riko.akita-u.ac.jp/graduate/prospectus/>

私費外国人留学生入試学生募集要項(願書)の請求方法

秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項(PDF)はホームページで確認できます。

入試情報

入試の要項

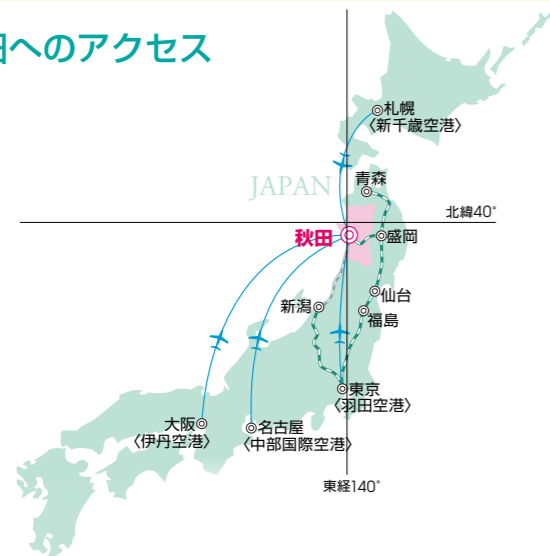
学生募集要項 (⑦私費外国人留学生入試)

願書の請求方法は、募集要項またはホームページで確認してください。

秋田大学受験生ポータルサイトから
<https://www.akita-u.ac.jp/admission/>



秋田へのアクセス



- 東京から**
 - 羽田空港—秋田空港(1時間5分)
 - 秋田新幹線「こまち」 東京駅—秋田駅(約4時間)
- 名古屋から**
 - 中部国際空港—秋田空港(約1時間25分)
- 大阪から**
 - 大阪国際(伊丹)空港—秋田空港(約1時間20分)
- 札幌から**
 - 新千歳空港—秋田空港(55分)



秋田大学 高等教育グローバルセンター
 〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号
 TEL+81-18-889-2258 FAX+81-18-889-3012
 E-mail: ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/index.html>
 令和2年9月発行



留学生のための入学案内

Guide for International Students



秋田大学
 Akita University

秋田大学

Akita University

秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、理工学部、医学部及び大学院で構成される国立の総合大学です。秋田師範学校、秋田青年師範学校及び秋田鉱山専門学校を母体とし、1949年に発足しました。

在籍者数 (2020年5月1日現在)

◆ 学生数：5,095名 (学部生4,370名、大学院生725名)

◆ 留学生数：197名 (学部生114名、大学院生83名) ※学位取得目的の留学生を含む。

学部	学生数	留学生数		
		学位取得目的	短期	合計
国際資源学部	509名	12名	3名	15名
教育文化学部	882名	6名	8名	14名
医学部	1,231名	4名	0名	4名
理工学部	1,748名	78名	3名	81名
合計	4,370名	100名	14名	114名

研究科	学生数	留学生数		
		学位取得目的	短期	合計
国際資源学研究科	111名	45名	1名	46名
教育学研究科	35名	0名	1名	1名
医学系研究科	205名	0名	1名	1名
理工学研究科	374名	35名	0名	35名
合計	725名	80名	3名	83名

国際交流協定校 (2020年5月1日現在)

【大学間協定】 ● 30カ国・地域62大学

国・地域名	大学名	学生交換 履修を可能
インド	インド工科大学マドラス校	●
	VIT大学	●
インドネシア	バンドン工科大学	●
	トリサクティ大学	●
	ガジャマダ大学	●
	ブルタミナ大学	●
韓国	国立ハンバット大学校	●
	国立江原大学校	●
タイ	チュラロンコン大学	●
	スラナリー工科大学	●
台湾	国立台湾大学	●
	国立彰化師範大学	●
中国	黒龍江大学	●
	中国医科大学	●
	中南大学	●
	遼寧工程技術大学	●
	大連民族大学	●
	蘭州大学	●
	吉林大学	●
	東北大学	●
	東華大学	●
	華中科技大学同済医学院	●
	長安大学	●
	北華大学	●
嘉興学院	●	
フィリピン	フィリピン大学デリマン校	●
	フィリピン大学マニラ校	●

【部局間協定】 ● 18カ国・地域29学部等

部局名	国・地域名	大学名	学生交換 履修を可能		
国際資源学研究科	アジア	インドネシア	ハサスアイン大学工学部	●	
		タイ	バジャジャラン大学地質学部	●	
	中東	スーダン	カセサート大学理学部	●	
		セルビア	紅海大学地球科学部及び海洋漁業学部	●	
	ヨーロッパ	ポーランド	ベオグラード大学工学部 ボール校	●	
		カナダ	AGH科学大学	●	
	北米	カナダ	ケベック大学州立科学研究所	●	
		韓国	大韓民国聖公会大学校韓国語学堂	●	
	医学系研究科	アジア	中国	中国衛生部北京医院	●
			シンガポール	シンガポール国立大学看護学部	●
タイ		スラナリー工科大学看護学部	●		
ヨーロッパ		フランス	リール大学医学部	●	
医学部 附属病院	北米	アメリカ	ハワイ大学 ジョン・A・バーンス医学大学院	●	
	アジア	中国	テキサス大学 M.D.アンダーソンがんセンター	●	
理工学研究科	アジア	中国	蘭州大学附属第一病院	●	
		台湾	明新科技大学工学院	●	
	アジア	中国	清華大学精密機器と機械学系	●	
		中国	清華大学化学系	●	
	インド	中国	同済大学材料科学与工程学院	●	
		中国	同済大学上海市金属効能材料開発 応用重点実験室	●	
	インド	インド	インド科学技術研究評議会附属国立科学技術研究所	●	
		インド	ザンビア大学鉱山学部	●	
	アフリカ	ザンビア	ザンビア大学工学部	●	
		チュニジア	スファックス大学工学部	●	
オセアニア	ニュージーランド	オークランド工科大学デザイン創造学部	●		
	北米	アメリカ	モンタナ鉱物理工科大学	●	
ヨーロッパ	ハンガリー	デブレツェン大学情報学部	●		
	スロバキア	コメンヌス大学数学・物理・情報学部	●		
地方衛生センター	アジア	中国	同済大学上海市金属効能材料開発 応用重点実験室	●	

※部局間協定に基づく学生交換は各部局により異なります。

春

夏

秋田

豊かな自然と伝統文化 四季の移り変わり…

秋田県は日本海に面した本州の北部に位置しています。世界遺産の白神山地、日本で最も深い湖である田沢湖、八幡平や男鹿半島などに象徴される豊かな自然に囲まれ、四季の移り変わりを感じることができます。春には桜まつり、夏には東北三大祭りに数えられる竿燈まつり、秋には紅葉、冬にはスキー・スノーボードを始めとしたウィンタースポーツの他、雪国ならではの数々の冬の祭りが楽しめます。

秋田大学のキャンパスのある秋田市は、人口約32万人。秋田県の県庁所在地として政治、経済の中心を担っています。交通の利便性も良く、都心に比べて物価も安いいため、留学生活を送るのに適した環境です。



竿燈まつり

毎年8月3日～6日に秋田市で行われる祭りです。竿燈は最も大きなもので高さ約12メートル、重さ約50キロになります。この大きな竿燈を手、腰、額などで支えてバランスを取り、技を競い合います。大学にもチームがあります。



なまはげ行事

男鹿半島に伝わる伝統的な民俗行事で、毎年大晦日(12月31日)の夜に行われます。なまはげは神々の使者とされています。



田沢湖

仙北市にある日本一深い湖です。(最大深度423.4m)大学から約1時間、周辺ではカヌーやラフティングが楽しめます。



きりたんぼ鍋

きりたんぼとは、秋田の郷土料理で、ご飯をつぶして棒に巻き付けて焼き、食べやすい大きさに切ったものです。鶏肉や野菜、きのこなどを入れた鍋料理を「きりたんぼ鍋」と言います。

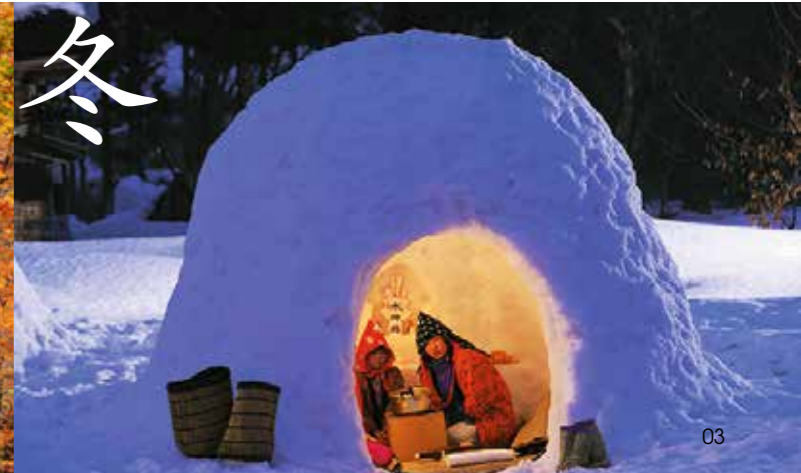


温泉

秋田には数多くの温泉があり、乳頭温泉郷や玉川温泉などが有名です。写真は、乳頭温泉郷にある露天風呂です。

秋

冬



学部紹介 Undergraduate

国際資源学部



国際資源学部は、現在世界が直面している資源問題、経済のグローバル化の進展を背景に、グローバルに資源分野で活躍できる人材育成を目指し、2014年に設置されました。これまで秋田大学が培ってきた資源学教育を礎に、国内外の大学や企業との連携体制を強化し、英語による専門教育、海外資源フィールドワークの必修化、文理融合型教育といった特色ある教育を行います。資源をキーワードに、国際関係学や法、政治、経済、地域研究を多角的に学ぶ「資源政策コース」、資源の分布や生成システムについて学ぶ「資源地球科学コース」、石油・天然ガスや鉱物資源の開発生産理論やリサイクル技術を学ぶ「資源開発環境コース」の3コースからなります。

国際資源学科 資源政策コース 資源地球科学コース 資源開発環境コース

教育文化学部

教育文化学部は、小学校を主体として幼稚園・保育園や中学校との連続性を重視した教員の養成を目指す「学校教育課程」と、地域の経済や文化の活性化、コミュニティの創生・再生などの様々な方面で、地域振興の中核となり得る能力・資質を有する人材を養成する「地域文化学科」の1課程1学科からなります。

学校教育課程 教育実践コース 英語教育コース 数理教育コース 特別支援教育コース こども発達コース
 地域文化学科 地域社会コース 国際文化コース 心理実践コース

理工学部

理工学部は、世界的ニーズが明確で発展の著しい、理学と工学が融合した理工学を教育研究分野の中心とし、幅広い教育学問分野を包括する地域の教育拠点を構築します。理学・数学から理工学、工学の多面的な学問分野で、身につけた深い基礎学力と新しい発想によって新時代の諸課題にたくましく取り組む人材を育成します。

具体的には以下の4学科(8コース)から成り立ちます。

生命科学科 生命科学コース
 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース
 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース
 システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース

医学部

医学部は、豊かな教養に支えられた人間性、学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探究・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と福祉に貢献できる国際的視野を備えた人材を育みます。卒業後は、臨床現場で医療人として活躍する道のほか、大学院に進学し研究者や教育者をはじめとする医学医療の高度な専門家を目指す道が開かれています。

医学科 医学
 保健学科 看護学 理学療法学 作業療法学

大学院紹介 Graduate

国際資源学研究科

国際資源学研究科は、地球規模の課題となった資源問題の解決を目指し、創造性豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、将来の資源エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成します。特に、海外からの留学生の受け入れについては、積極的に行います。

博士前期課程[修士(資源学・理学・工学)] 博士後期課程[博士(資源学・理学・工学)]
 資源地球科学専攻 資源開発環境学専攻 資源学専攻

理工学研究科

理工学研究科は、これからの国際社会や地域産業を担う高度な専門的技術者・研究者、国際的な視野をもって地域の産業を自ら生み出す挑戦者、地域に根差したグローバル人材、これらの人材を養成すると共に、地域企業・地方行政との連携により喫緊の課題である「地方創生」を推進します。

博士前期課程[修士(理学・理工学・工学)] 博士後期課程[博士(理学・理工学・工学)]
 生命科学専攻 総合理工学専攻
 物質科学専攻
 数理・電気電子情報学専攻
 システムデザイン工学専攻
 共同ライフサイクルデザイン工学専攻
 博士後期課程では各カリキュラムを英語で履修できる英語による特別コースも設置しています。

医学系研究科

医学系研究科は、人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の最先端研究を推進できる国際的視野を備えた優れた研究者・高度専門医療人を育成することを目的としています。

修士課程[修士(医科学)] 博士前期課程[修士(看護学、リハビリテーション科学)]
 医科学専攻 保健学専攻 看護学領域 リハビリテーション科学領域
 博士課程[博士(医学)] 博士後期課程[博士(保健学)]
 医学専攻 保健学専攻 生涯発達・健康支援看護学分野 生活機能・健康行動支援科学分野

入学制度 Admissions

1 私費留学生

分類	目的	説明	出願
学部学生	学位取得(学士)	大学に4年(医学部医学科は6年)以上在学し、所定の単位を取得すると学位が与えられます。	別紙「私費外国人留学生の入学選抜」参照
大学院学生	学位取得(修士・博士)	所定の単位を修得し、在学中に学位論文の審査及び最終試験に合格すると、学位が与えられます。 (修士) 国際資源学研究科博士前期課程、医学系研究科修士課程及び博士前期課程、又は理工学研究科博士前期課程に2年以上在学が条件です。 (博士) 国際資源学研究科博士後期課程に3年以上、医学系研究科博士課程(医学専攻)に4年以上、医学系研究科博士後期課程(保健学専攻)に3年以上、又は理工学研究科博士後期課程に3年以上在学が条件です。	各研究科のウェブサイト参照
交換留学生 特別聴講学生(学部・大学院) 特別研究学生(大学院)	学位取得を目的としない	学生交換の覚書を結んでいる国際交流協定校に在籍する学生が対象です。本学で1学期または1年間、科目を履修します。 特別聴講学生 履修科目については、単位を付与するとともに成績証明書を交付します。 特別研究学生 本学での履修・修了に関する証明書を交付します。 ※留学ビザを取得するには、週10時間以上の履修が必要です。	<4月入学希望者> 前年度11月下旬 <10月入学希望者> 当該年度5月中旬
科目等履修生	学位取得を目的としない	本学が開設する授業科目を履修し、履修した科目の成績評価基準を満たすと所定の単位が認定されます。 ※留学ビザを取得するには、週10時間以上の履修が必要です。	各学部・研究科に要個別相談
研究生	学位取得を目的としない	指導教員の指導のもとで、特定の研究テーマについて研究を行う学生です。主に大学院への進学を目的としています。	各学部・研究科に要個別相談

2 国費留学生 ※希望する方は文部科学省のウェブサイトをご参照ください。

分類	目的	説明	出願
学部学生	学位取得(学士)	1の学部学生と同じ	大使館推薦のみ(在外日本公館に申請)
研究留学生(大学院学生)	学位取得(修士・博士)	1の大学院学生と同じ	大使館推薦(在外日本公館に申請)と大学推薦(在籍または出身大学に相談)の2つがあります。
日本語・日本文化研修留学生(日研生)	学位取得を目的としない	日本語能力及び日本事情、日本文化の理解の向上のための教育を受けることを目的とし1年間在学します。	
教員研修留学生(教研生)	学位取得を目的としない	大学等を卒業した者で、自国の現職教員及び教員養成学校の教員であること、また日本語を学習し、かつ日本語で研究指導を受ける者が対象です。	大使館推薦のみ(在外日本公館に申請)

※秋田大学においては、一部の授業・プログラムを除き日本語により授業が行われますので、十分な日本語能力が必要です。

経済支援 Financial Support

経済支援

(1) 入学料徴収猶予(私費外国人留学生対象)

経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対して、入学料の徴収を猶予する制度です。申請は学生本人が入学前に行う必要があります。

詳細は秋田大学ウェブサイト「学費・生活費・奨学金制度」(https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html)または、9月中旬発表予定の「秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項」をご参照ください。

(2) 奨学金制度

※奨学金の受給者は、申請後、審査のうえ決定されます。全員が受給対象となるわけではありません。

a 文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度

日本学生支援機構(JASSO)による、私費外国人留学生(交換留学生を除く)を対象とした奨学金です。

b 民間団体、地方自治体の奨学金

私費外国人留学生(交換留学生を除く)を対象とした様々な奨学金制度があります。

c 秋田大学「新入生育英奨学資金」

経済的理由により入学料の納付が困難である者(私費留学生含む)に対して、最大で10万円を給付する制度です。

交換留学プログラム Student Exchange Programs

秋田大学と学生交換の覚書を結んでいる国際交流協定校の学生が対象です。

1 AUAJ (Akita University Academic Japanese Program) アカデミック・ジャパニーズのための特別交換留学プログラム	原則、日本語または日本語教育を専攻し、かつ日本語能力試験N2以上の日本語能力を持った学生を対象としたプログラムです。学術活動を行うための高い日本語能力と専門知識、意欲をもった人材の育成を目指します。	1年間 (4月から翌年2月 または10月から翌年8月)
2 AUSR (Akita University Program for Solving of the Regional Problem) 秋田大学地域課題解決プログラム	日本語や専門の勉強をしながら、地域の行事や住民との交流活動に参加します。学生が日本人大学生や地域住民と協力し、地域の活性化に寄与するプロジェクトを企画・実施することを目的としています。	1年間(10月から翌年8月)
3 AUGP (Akita University General Program) 秋田大学全学留学生等プログラム	AUAJ及びAUSRとは異なる形態で留学を希望する学生向けのプログラムです。留学期間を1セメスターまたは2セメスターから選ぶことができるほか、科目を自由にカスタマイズして受講することができます。	半年間または1年間 (4月開始または10月開始)

施設紹介 Facilities



手形食堂

平日は8:00～19:30まで、食事を提供しています。



図書館

自習スペースもたくさんあります。



パンココ(生協1階)

お弁当や飲み物などの軽食を購入することができます。



Coople(生協2階)

教科書、その他書籍や文房具を購入することができます。



多文化交流ラウンジ

留学生が自由に使えるスペースです。平日の8:30～17:00まで開いています。



保健管理センター

医師、看護師、カウンセラーがいます。



国際課

留学生の皆さんへ生活支援を行っています。困ったことがあればいつでも相談に来てください。

新留学生オリエンテーション・歓迎パーティ

オリエンテーションでは、秋田での生活を開始する際に必要な役所・銀行での手続き方法や、授業の登録方法、日本での生活で注意すべきこと等、留学生の皆さんに必要な情報をお伝えします。大学内を案内するキャンパスツアーもあります。歓迎パーティでは、他の留学生や教職員と交流を深めることができます。



4月 新留学生オリエンテーション・歓迎パーティ



4 APRIL

5 MAY

6 JUNE

7 JULY

8 AUGUST

9 SEPTEMBER

10 OCTOBER

11 NOVEMBER

12 DECEMBER

1 JANUARY

2 FEBRUARY

3 MARCH

楽しい行事がたくさんあります!

12月 もちつき



もちつき

日本の伝統文化である「餅つき」を昔ながらの方法で体験します。つき上がった餅でスイーツをつくって食べます。

チューター制度

秋田大学に入学してまもない留学生のみなさんを、大学での学習や日常生活を不自由なく送れるように、学生(チューター)がサポートします。



10月 農家民泊

農家民泊

このイベントでは、毎年秋に2回の農業体験プログラムが行われます。1回目は10月に行われる「農業体験ツアー」、2回目は11月に行われる「収穫感謝ツアー」です。「農業体験ツアー」では、農作業や農家民泊でのホームステイを体験します。「収穫感謝ツアー」では、収穫した農作物で料理を作ります。



スキーツアー

毎年2月に留学生と日本人学生を対象にスキーツアーを行います。インストラクターもいますので、初めての方も安心です。



2月 スキーツアー

学費 (2020年度入学者)

区分	授業料	入学料	検定料
学部学生	年額 535,800円※	282,000円	17,000円
大学院学生	年額 535,800円※	282,000円	30,000円
特別聴講学生 特別研究学生	秋田大学と国際交流協定校との間で締結された「学生交換に関する覚書」に従い、秋田大学における授業料が免除されます。		
科目等履修生	1単位 14,800円	28,200円	9,800円
研究生	月額 29,700円	84,600円	9,800円

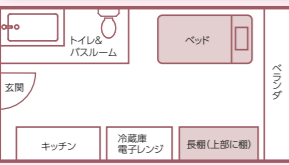
※授業料は、年額を前期と後期に1/2ずつ納付します。
※国費留学生は、本学における授業料、入学料、検定料はかかりません。



1. 留学生のための寮

1 国際交流会館

大学まで徒歩5分



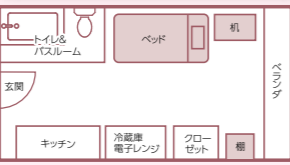
寄 宿 料	(A棟)単身室:5,900円/月 (B棟)単身室:15,000円/月 ※水道・電気代など別途かかります。
入居期間	1年以内

学生の声

快適な学生生活のために必要な設備が整っているの、私は国際交流会館での生活に満足しています。綺麗で新しく立地が良くとても便利です。さらに、友達とお茶をするために大きなラウンジを使うこともできます。
アフメトバリエバ・ザリナ (カザフスタン)

2 留学生会館

大学まで徒歩15分



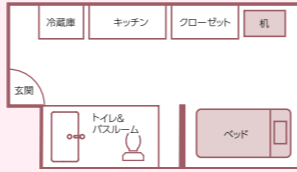
寄 宿 料	単身室:5,900円/月 ※水道・電気代など別途かかります。
入居期間	1年以内

学生の声

留学生会館は秋田市と同じように静かなところです。家賃も安いし、交通も便利だし、周りにスーパーもいっぱいあるので、とてもいいところだと思います。
呉天歌 (中国)

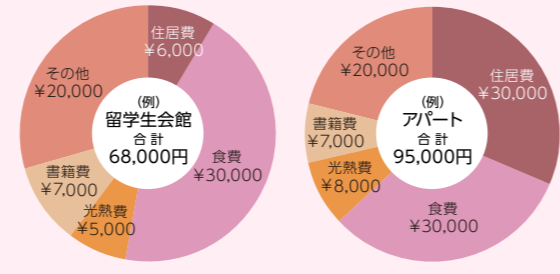
3 西谷地寮(男子寮)

大学まで徒歩15分



日本人学生と混在の寮です。修学年限まで入居可(留年した場合は卒業前に退寮)、寄宿料は20,000円/月です。

生活費の目安(1ヶ月あたり)



2. 民間アパート

大学生協や民間の不動産会社で物件を紹介しています。家賃は、地域や部屋の新旧等によって異なりますが、おおよそ6畳(キッチン、バス、トイレ付)で月額30,000円前後です。
※契約の際には敷金・礼金等合計で2~3か月分の家賃相当額が必要となる場合があります。

アパートに関する支援

アパートを借りる際に連帯保証人を頼める人がいない場合は、留学生住宅総合保障(保険)に加入することを条件に、秋田大学が保証人となります。
保険加入料は、保障期間が2年間の場合、8,000円です。



アマンダ レン リナ さん
教育文化学部 地域文化学科 心理実践コース

自分らしさを見つける第一歩

昨年、いくつかの大学から合格をいただきとても迷いました。受験で秋田に来た時、雪が降っていてとても寒い冬でしたが、面接の先生方はもちろん他にも秋田の多くの優しい人々と出会い、何より目指している勉強ができるということで秋田大学を選びました。私は心理学を勉強したくて日本に来ました。秋田大学は留学生が心理学を学べる日本で数少ない大学のうちの一つです。心理実践コースは地域文化学科の中にあり、一年次は地域についても幅広く学ぶことがとても魅力的です。



マレーシア

秋田には綺麗な風景、美味しい食べ物、沢山の笑顔があります。ここでは電車の音ではなく、鳥の声を聞き、自然の香りがするので気持ちが落ち着き勉強に集中できます。

秋田に来て素敵な出会いが沢山ありました。留学生は国籍を問わず、お互い助け合っています。去年はパーティー、BBQ、カラオケ、お祭り、スキー、農家体験、ホームステイなど本当に色々なことをしました。秋田大学が留学生のために主催してくださるイベントも沢山あります。このように今までにない経験をすることができ、また異なる文化や習慣を知ることができます。

先生方や国際課の皆さんが十分に支援してくださるので安心して学び、生活を送ることができます。もちろん辛いこともあります。私は秋田大学を選んでよかったと心から思っています。今の私は笑顔が増え、自分が本当に生きたい姿で毎日楽しく過ごしています。皆さんにもぜひ自分で体験してほしいです。秋田大学でお会いしましょう。



ガンガノグゲジラシン パンヤポン さん
理工学研究科 システムデザイン工学専攻 機械工学コース

私は東京で日本語を1年半勉強しました。日常会話ができるようになって日本語学校の先生から秋田大学を紹介してもらいました。2018年12月に秋田大学に入学しました。その時、初めて秋田に来ました。最初の景色は雪国でとても美しいシーンでした。秋田の雰囲気は落ち着いて、自然が多く、空気もいいと思います。

実際に秋田へ引越した時、とても不安でした。日本語があまり上手じゃなくて、知り合いもいなかったです。幸いなことに秋田大学に国際課があって、国際課で色々な事を手伝ってもらいました。例えば、ビザのこと、奨学金のこと、アパートのことなどです。それに、国際課での見学や秋田のイベントのお知らせもあるので、ここで無料で参加できます。

秋田は人口があまり多くない町ですが、お店やデパートなどはけっこうあると思います。そして、もちろん、自然観光スポットがたっぷりです。自然と人間のバランスが良い所で過ごすとなんだか落ち着く人になったと感じました。日常生活も変わってきました。例えば、電車の代わりに自転車に乗ったり、いつも外食の代わりに自炊したりするなどです。ライフスタイルが変わったおかげで、生活費も低くなりました。秋田のもう一つの特徴は外国人が日本で一番少ないことです。それで、日本語や日本文化を深く理解できると思います。



タイ

少し研究生活についても話したいです。私は大学院生なので、毎日研究室へ通い、精密測定方法について研究しています。精密測定というのは小さい部品などを測定することです。例えば、昔の携帯電話と今のスマホの形は違いますね。スマホは軽いし、丈夫だし。その要因の一つは部品のサイズが小さくなったことです。小さい部品を造るため、高度的な測定方法が必要です。研究室には、大学院生はもちろん、学部生もいます。授業の宿題やレポートなどが分からない時、いつも研究室の友達と先輩に手伝ってもらいました。そして、大学院生は大部分の時間研究をします。そのため、よく先生と相談しています。指導教員の先生はとても優しく、研究のことだけでなく、卒業後や日常生活についても相談できます。

これらを合わせて考えると秋田大学は日本で留学に適する所のトップだと思っています。